

2020 年度卒業論文題目一覧

● 哲学歴史学科

哲学コース

大久保 伊吹

ロールズの『正義論』における「正」と「善」の
関係について

木戸 吉則

ベンヤミン初期言語論における命名としての言
語について

木本 竣

フーコーとドゥルーズの狂気と文学論

酒井 優太

生存肯定としての消極的功利主義

下仲 宗次郎

タイムトラベルにおける環状因果の可能性

長野 周平

早坂文雄の研究

長谷川 梓

ミュージカル「エリザベート」が提示する生の
あり方

松山 あき

ハイデガーにおける気分と無について

小野 真未

ソクラテスはなぜ死んだのか

日本史コース

是澤 匠

大阪市における知的障害者に対する教育の実態

太田 遥

大和・河内における6・7世紀の道路交通網整備

東 奈江

畿内周辺におけるトイレ遺構の分類と整理―堺
環濠都市遺跡の分析を中心に―

伊神 浩志

西成鉄道の発起及び設立と都市地域社会

高桑 嘉月

富山藩合寺事件に関する考察

瀧田 大斗

摂津国人池田氏の勢力拡大と家臣団統制の推移

中納 雅司

奈良時代の地方仏教行政について―一國師を中心
に―

古谷 優周

幕末期の泉州一橋領知における御用請負体制に
ついて

村山 大樹

日本古代における音楽の展開

―六国史に見る音楽関係記事―

世界史コース

上野 徳之

オスマン帝国 1582 年「王の祝祭」の食事におけ
るスルタンの権威の発揚について

井本 勝

イギリスによるインド支配の新たな視点 ―イ
ンドにおける鉄道建設を中心に―

小森 紗季

14 世紀初頭南仏の異端審問から見る民衆とカ
タリ派の関係について

―『判決集』に現れるトゥールーズ市で裁かれ
た被告人を事例に―

林殿 七菜子

14-16 世紀にわたるメリュージュ伝承の伝播―
メリュージュはなぜ長生きしたのか

藤崎 香奈子

古典期アテナイにおける女性の市民権とパンア
テナイア祭・テスモフォリア祭

● 人間行動学科

社会学コース

石塚 春樹

テレビ番組出演者のキャラクター獲得クイズ番組『東大王』の中で東大生タレントが果たす役割

河原 好美

母親の子へのかかわり方が子供の学力に与える影響

河村 美緒

セクシュアリティにおける差別への反対活動とBL文化の融合－BLの扱い方、腐女子のあり方から考察－

小林 奈波

『君の名は。』の例から検討する聖地巡礼成功の要因とSNSの関係

後藤 航

総合型地域スポーツクラブが子どもの運動能力とソーシャル・キャピタルの形成に及ぼす影響の分析

清水 馨

お笑い番組における競技的側面について
－M-1グランプリを事例にして－

谷口 和宏

新聞4コマ漫画における政治権力の描かれ方－
「地球防衛家のヒトビト」を例として

津村 涼子

インターネット時代におけるアーティストのメジャー化とファン心理の変化
－米津玄師を例に

中島 瑞希

第4次韓流ブームはどのように起こったのか

廣田 和己

余暇活動にジェンダー・ギャップは存在するの
か－時間量・行動頻度という視点からの実証分
析－

松村 歩実

参加型文化としてのアイドルファン行動－
「PRODUCE101JAPAN」のファンはどのような
思いで協働しているのか－

松本 啓吾

世界遺産 百舌鳥古市古墳群と地域住民

豆塚 円香

ロリータ・ファッションに関する研究－「普通」
からの「逸脱」について－

南 綾香

「アイドル」という文化現象を見る
－日韓アイドルの比較研究－

山本 友香梨

出産・育児期女性の正規雇用継続の要因と育児
資源

安西 正宏

他人事の死と死への準備教育の課題

鈴木 ジュリア ノエル

技能実習制度を利用する雇用者の語り
――大阪府の製造業中小企業3社を例に――

心理学コース

大槻 祐介

自尊感情の高低と不安定性が存在論的恐怖の強
度に与える影響

井手 優太郎

特定の職業における自己義認傾向の再現につい
て

小川 真由

囚人のジレンマゲームにおけるハトの協力行
動：対戦相手の選択内容呈示の効果

甲元 綺

嗜好品に関するブランド価値測定

古巻 見晴

シャーデンフロイデの規定要因の検討

玉田 寛子

ジェンダー意識が大学生の職業選択にもたらす
影響

千種 ひとみ

エネルギー減少場面における遅延割引測定—遅延時間・報酬量・エネルギー価格の効果

中島 裕人

特定の感情が思考の深さに与える影響について

西田 隼祐

家族の働きかけ及びその関係が学習動機に与える影響

東浦 あずさ

顕在記憶・潜在記憶における検索誘導性忘却と実験手続きの検討

久徳 廣代

再判断の正答率、A-C 関係および確信度における背景文脈の影響

古堅 雄史

購買場面における選択肢数と選択内容が満足度に及ぼす効果

安田 奈央

着規規範が服装選択に及ぼす影響に関する検討

山田 拓弥

道徳的ジレンマにおける複数の条件と情報による影響について

大和 由季

新生仔期母子分離ストレス負荷ラットの行動特性に及ぼすクエチアピン慢性投与の効果

吉武 拓真

上方比較が動機づけに及ぼす影響-比較対象と制御焦点による調整効果-

榊山 絵美

恋愛関係における甘えの表出に及ぼす要因の検討

教育学コース

庭瀬 央基

不登校の子どもたちの居場所支援に関する—考察—
—他者とのつながりを目的とした「社会的居場所」に着目して—

松岡 知希

一人旅による人間形成

大山 うらら

協同学習を取り入れた授業における教師の工夫の特徴—中学校外国語科に注目して—

河内 沙理菜

慣用句・ことわざの「誤用」と国語教育—「言葉の変化」の視点を踏まえた言葉の理解と関心を育む方策を見据えて—

楠本 舞佳

幼児期における「幼なじみ」という関係性—「愛着」に着目して—

藏口 穂乃香

小学校外国語活動における学級担任とALTの連携の意義と課題

-X市立Y小学校の授業観察を通して-

小林 由紀彦

中学校外国語科(英語)のスピーキング活動における情動的足場かけに関する考察—Y市立X中学校の分野別授業の事例をもとに—

須田 剛司

学校組織の特徴から捉える職員会議におけるICT導入の有効性

住吉 隼

部活動における生徒の技術理解がアクティブラーニングの根幹になることについて—高校の野球部に着目して—

辻 まひろ

高等学校でのキャリアプランニング能力育成における大学の模擬授業の在り方-雲雀丘学園高等学校での取り組みを例に-

富岡 優

自律性・協働性を育てる特別活動

—シェアド・リーダーシップ発生要因の観点から—

野口 愛心

家庭教育トレンドの「変化」を捉える視点
—政策言説の中で家庭教育はどのように捉えられ、教育する主体として期待されてきたか—

山下 匠

進学に前向きでない子どもがいる貧困家庭への
スクールソーシャルワーカーの支援
—スクールソーシャルワーカー実践活動事例集
を用いて—

和田 明加理

教科横断的な学習の意義と今後の展望～カリキ
ュラム・マネジメントの視点から捉える生活科
と他教科との横断～

中尾 春花

社会教育における学習権の再考— あいちトリ
エンナーレ 2019「表現の不自由展・その後」に
着目して—

地理学コース

景山 明日香

堺東の商店街の変容と活性化への取り組み

名倉 菜摘

ニュータウン開発による郊外社会の変容と発展
—狭山ニュータウンを事例として—

板原 虎ノ介

整備新幹線は「地域の振興」を実現するか —
北陸新幹線と富山県魚津市を事例に—

井元 遼太郎

子どもの生活時間の変化と放課後児童クラブの
役割

深田 隼人

「時間」のシェアの地域的展開—フードデリバリ
—サービスの現状と課題—

宮本 翼

マンション立地に伴う中心市街地の活性化とま
ちなか居住—兵庫県姫路市を事例として—

山村 名香

農産物直売所における IoT 活用実態と展望—滋
賀県守山市「ファーマーズ・マーケット おう
みんち」を事例として—

管 新寧

大阪市西成区・浪速区における外国人住民の居
住実態とビジネス動向—人口動態分析とインタ
ビュー調査を通じて

● 言語文化学科

国語国文学コース

細川 奏絵

作詞家・阿久悠の「作詞憲法」

1970年～1980年代前半の阿久悠の軌跡

島津 考輝

『痴人の愛』から『春琴抄』へ～「ほんたうら
しさ」を生み出す「陰翳」～

稲井 紗稀

敬語接頭辞「お」「ご」について

大木 絵理

『有明の別れ』女大将の天人性の表現～仏教の
影響について～

梶尾 優月

夏目漱石の「個人主義」について

上山 友佳梨

役割語としての感動詞について

近藤 啓道

太宰治『人間失格』における「世間」

—大庭葉蔵が「人間、失格」と自認した要因—

佐々木 小百合

円地源氏における特定の人物の心理の増幅につ
いて

角 百恵

格助詞「の」の連体修飾の用法についての考察

高石 日向

日本のポピュラー音楽の歌詞の特徴と文学的価
値について——syrup16g を題材に

塚原 実里

藤原定家による「風」の捉え方について

辻 康太郎

司馬遼太郎の戦争体験とそれが作品執筆に及ぼした影響～『殉死』を中心に～

中沢 亮

太宰治『葉』における「死生観」について

西田 怜央

「みる」と「をり」の歴史（上代から平安時代まで）

東野 桃

助数詞「本」の用法と性質－「筋」と比較して－

福山 亘輝

夏目漱石『こころ』における K と先生の自殺について

堀内 佳恵

接尾辞「一み」の変遷について

堀川 公美子

式子内親王の「忍恋」と「夢」について

松井 優河

近松浄瑠璃における「契約」をめぐる悲劇－『関八州繫馬』において完成された作劇法－

吉田 直輝

坂口安吾の探偵小説観と「不連続殺人事件」における附記の効果

加藤 祐乃介

北杜夫と昆虫

中国語中国文学コース

村井 彩希

両国における日中合作映画の役割

藤田 敦

阿来『空山』における慈悲の筆致について

英米言語文化コース

森本 匡哉

言語の抽象性と具体性についての考察

赤松 巖

『ドラキュラ』論

－登場人物との関わりから捉える狂人レンフィールド像

岩垣 敦哉

『月長石』論－フランクリンの曖昧性がもたらすイギリスの価値観の揺らぎ

大住 茉莉加

Middlemarch and Mrs Dalloway: The Changes in England from the 19th Century to the 20th Century

岡崎 紗也

英国は犬派？猫派？

角陸 絵理歌

nice の意味が文学作品において、文語か口語かによってどう変わるか

川上 桃佳

トニ・モリスン『青い眼がほしい』

－ピコーラにはなぜ青い眼が必要だったのか

北村 美優

何が老人を突き動かすのか

－『老人と海』における作者と主人公

澁谷 真帆

言語に見られる昔の世界観－中性名詞で扱われる女性と子供について

田中 侑大

『わたしを離さないで』論

－ヘールシャムとキャシーの語り

田中 佳恵

『グレート・ギャツビー』から読み解く 1920 年代アメリカの姿－ギャツビーが求めたもの

中谷 紗恵

A Comparative Study of The Chronicles of Narnia and The Lord of the Rings

林 莉夏子

The Structure and Strategy of the Communication Gap between the U.S. and Japan from a Cultural Perspective

東口 夏樹

Problems with the English Education System in Japan and Some Breakthroughs

平田 友暉

『オセロウ』と『百物語』との比較

平野 優果

英語の未来形形成における音声縮約の発生要因について一文法化現象との関係

福島 和紀

不思議語から見るアリスの内面の変化

森 優花

Arthur Conan Doyle's *A Study in Scarlet* and Agatha Christie's *Murder on the Orient Express*

上田 裕介

Reflections on the Origin of Religious Freedom with an Analysis of Roger Williams' *A Key into the Language of America*

ドイツ語フランス語圏言語文化コース

近藤 千花

テオドール・フォンターネの『セシールの秋』と『迷誤あれば』—社会的性差についての考察—

赤井 優花

エコカルティエ制度にみるフランスの持続可能なまちづくり

石倉 晶子

『ラディアン』における日本的要素から考えるマンフラの将来

奥村 花香

移民と教育の日仏比較

—ニューカマーの子どもに対する教育機会をどのように保障するか—

多井 沙織

ワーグナーの救済観の変化とキリスト教批判—『さまよえるオランダ人』『タンホイザー』『パルジファル』を手掛かりに—

高原 菜々穂

Le Dernier Amour du prince Genghi におけるユルスナールの『源氏物語』の理解と再創造

高山 朝美

ケストナーと子どもの本—『エーミールと探偵たち』、『点子ちゃんとアントン』、『飛ぶ教室』、『ふたりのロッセ』を手がかりに—

中西 佑理

フランスと日本における女性の政治参加

橋本 真弥

ピトレスクを通して見るロココ絵画と風景式庭園

宮井 ゆう菜

フランスにおける過疎化対策とその効果、成功の要因

吉岡 真生子

ストリートアートの持つカーパリ 13 区を事例に—

吉田 愛花

『ELLE JAPON』が与えるフランスイメージの変化—「おしゃれ」で「サステナブル」なフランスへ

藤崎 幸子 ナデージュ

フランスに学ぶ、日本の更なる教育改善のために導入すべき教育方法

言語応用コース

庄山 愛美

翻訳に関する—考察—言葉にとっての意味について—

植田 有香子

メッセージアプリにおけるスタンプの日中比較

岩朝 茉友香

日本語における差別語に関する問題と—考察—

奥村 彩未

日本語の「かわいい」言葉・表現の特徴について

津村 紗綾香

擬態語の表記選択とその要因について

利見 茉依

「やさしい日本語」に対する日本人の意識についての一考察

中村 菜々聖

現代日本語小説の文章と他の文章活動との区別

波多野 美和

Twitterにおける接尾辞「-み」についての一考察
-動詞に接続する用例に注目して-

福永 真琴

自己紹介文における言語表現がもたらす印象の差異

松浦 芽里

音声言語と文字言語における「けど」の役割の違い――文に2回以上「けど」が使用される例より――

松田 夏実

歌詞からみる愛のメタファー

松原 明香

カタカナ英語と類義語の意味領域の「重なり」と「ずれ」に関する考察

村上 智紀

読書につながる国語科の授業に関する考察
-「本が読みたくなる授業」を目指して――

安田 響子

小学生の漢字テストにおける誤答分析による、効果的な学習方法の提案

周 紫雪

日本人大学生と中国人留学生のバイト敬語使用意識

表現文化コース

渡部 伶美

小野不由美『残穢』における恐怖喚起の仕組み

神子 直樹

『グリム童話』における結婚する男性像

白石 敦子

SF映画においてAIの身体像はどう表現されるのか? ～『エクス・マキナ』と『her/世界でひとつの彼女』におけるAIの恋愛の比較～

井上 七海

アニメ『キルラキル』における戦闘服としてのセーラー服

大本 遥々

女性ファッション雑誌『ViVi』の追い求める女性像

金盛 綾

関ジャニ∞における「大阪」のイメージに関する考察

河井 麻莉

瀬戸内海の島におけるアート作品の時間の表象

北岡 ひなた

女子高校生の「カワイイ」とは何か

――「カワイイ」の動機と主客構造の変化について――

高木 優菜

映画『紀子の食卓』におけるアイデンティティと平成家族の関係性

-「現代家族」と「紀子三部作」の観点から-

辻 優加

アクションゲームにおいてプレイヤーはキャラクターとの同一化を常に起こすか

辻井 萌

日本エレキテル連合のコントが構築する虚構空間

津田 友梨奈

日本のテレビドラマにおいて、なぜレズビアンは描かれないのか

外山 菜々実

人形におけるぶきみさ、無垢さ、自己愛の投影
--人形映画作品の分析を通して

中村 愛

SF映画における人工知能の性別
――『アイ, ロボット』を中心に――

西原 華

映画『ラ・ラ・ランド』における主題の二項対立 -現代のアメリカンミュージカル映画が提示する解決策-

藤井 日向子

ミュージカル『テニスの王子様』における物語消費の形態

藤間 優作

平成初期と現代における写真に対する価値観の変化

前田 さくら

aiko が描く恋愛の特別性 - 「二人だけの世界」とあたしの感覚の表象について -

三笠 侑一

アメリカ怪獣映画における怪獣表現の変化について

矢部 龍五

『やがて君になる』のヒットについて-百合漫画としての特殊性-

木村 有夢

やおいにおける暴力の変換と関係性の認識

山本 莉紗子

日本のプロフェッショナル・オーケストラの未来 - コロナ禍をどう活かすか -

清水 英里香

マンガ『ヘルタースケルター』における身体変工と内面描写について